

郡山市公共施設等総合管理計画

個別計画

(歴史・シンボル施設編)

2018年(平成30年)3月

郡山市

所管課

文化振興課

総務法務課

生涯学習課

第1章 概要

(1) 目的

本計画は、**2016年（平成28年）3月**に策定した「郡山市公共施設等総合管理計画」に基づき、施設類型ごとに具体的方針を示すものです。

(2) 対象施設

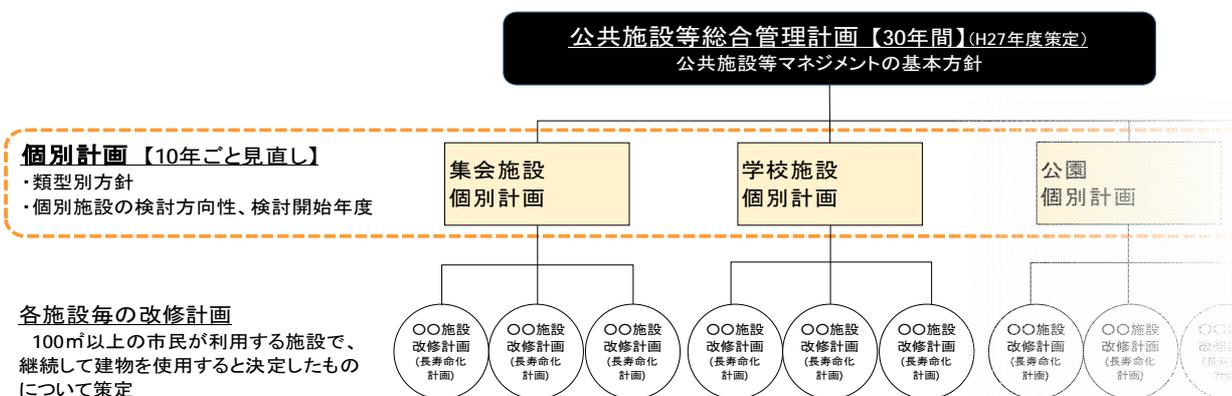
- ① 本計画は、「郡山市公共施設等総合管理計画」に定める「歴史・シンボル施設」の施設類型の全ての施設（**2018年（平成30年）3月31日**までに竣工予定のものを含む。）を対象とします。
- ② 「歴史・シンボル施設」は、主に文化財等、歴史的価値のある施設を対象とします。
- ③ なお、本市所有資産（建物等）による施設のほか、借用建物や複合施設等を含みます。

(3) 計画期間

2018年度（平成30年度）から2025年度（平成37年度）まで
ただし、社会情勢等により変更が生じた場合は、都度見直しを行い、郡山市公有資産活用調整会議で調整の上、本計画へ反映させるものとします。

(4) 計画の進行管理

今後は、本計画に基づき、毎年度**PDCA**管理して計画の進捗管理を図ることにより、施設の見直しや計画的な改修等に努めていきます。



第2章 公共施設等の現況及び将来の見込み

(1) 保有資産の状況

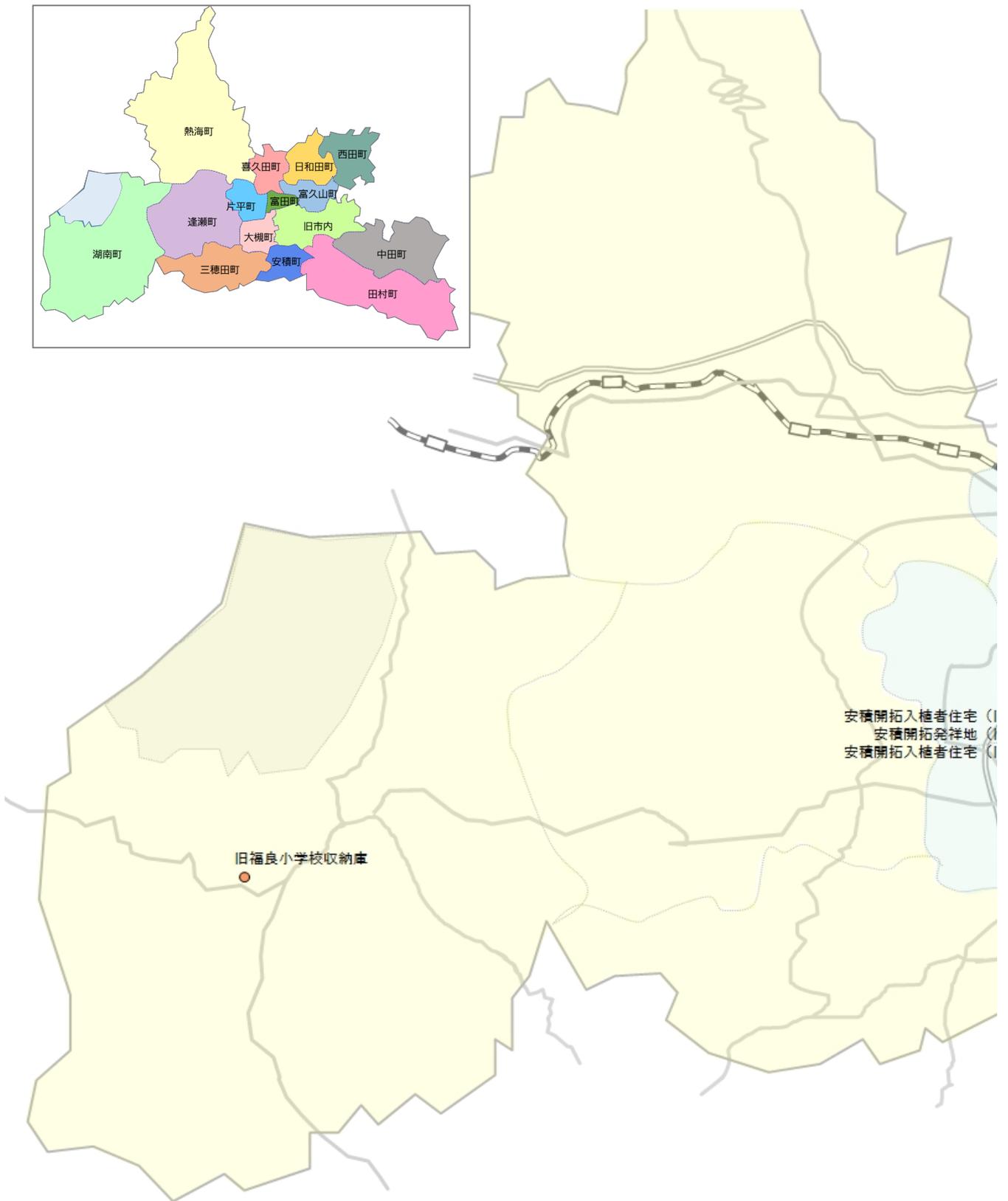
① 施設一覧表

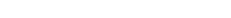
No	施設名称	行政管区	運営	所有	建築年度	経過年数	構造	延床面積(m ²)	耐震	備考 (複合化状況等)
1	郡山公会堂	旧市内	直	市・主	1924	93	RC造	1,102.1	-	
2	開成館	旧市内	直	市・主	1874	143	W造	1,360.1	-	
3	安積開拓入植者住宅(旧小山家)	旧市内	直	市・主	1997	20	W造	34.1	-	
4	安積開拓入植者住宅(旧坪内家)	旧市内	直	市・主	2004	13	W造	74.8	-	
5	安積開拓発祥地(旧立岩邸)	旧市内	直	市・主	1993	24	W造	357.1	-	
6	久米正雄記念館	旧市内	指	市・主	1999	18	W造	237.9	-	指定管理者制度導入施設 建築年度は移設年度
7	文学資料館	旧市内	指	市・主	1976	41	W造	575.0	-	指定管理者制度導入施設
8	歴史資料館	旧市内	直	市・主	1957	60	RC造	882.4	-	
9	金透記念館	旧市内	直	市・主	1980	37	RC造	652.6	-	中央公民館金透分室<<集会施設>> が入居
10	民俗資料収納庫	旧市内	直	市・主	1992	25	W造	121.3	-	
11	柳橋歌舞伎収納庫	中田	直	市・主	1995	22	W造	159.1	-	
12	旧福良小学校収納庫	湖南	直	市・主	1976	41	RC造	1,735.2	-	
合計								7,291.7		

【凡例】

運営	直：直営 指：指定管理 委：運営の一部を委託（指定管理を除く）
所有	市・主：市所有建物等で単独施設又は複合施設若しくは兼施設主要施設 市・副：市所有建物等の複合施設又は兼施設で主要施設でないもの 借：市以外が所有する建物等を借用 他：リース、市以外が所有する建物等の入居部分のみ所有している場合等、その他の手法により調達した建物等
延床面積	市所有分の延床面積 （複合施設の場合は、専有部分を（）書きで表示し、合計面積に含まない）
建築年度	複数の棟がある場合は、主体となる建物の建築年度を表示
構造	RC：鉄筋コンクリート造 SRC：鉄骨鉄筋コンクリート造 S・SL：鉄骨造・軽量鉄骨造 W：木造 CB：コンクリートブロック造 PC：プレキャストコンクリート造
延床面積	市所有分の延床面積 （複合施設の場合は、専有部分を（）書きで表示し、合計面積に含まない）
耐震	○：施設の耐震化対象の全ての棟が対応済 △：施設の耐震化対象の棟のうち一部が対応済 ×：未対応 -：耐震化対象となる棟がない施設

② 施設配置図



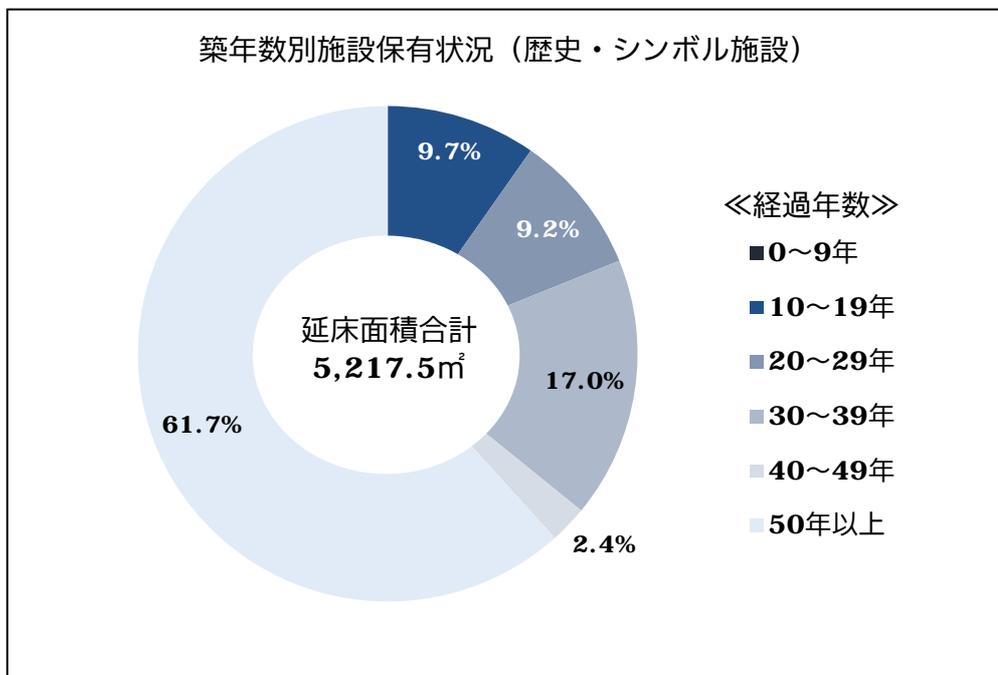
-  鉄道
-  高速道路
-  河川（阿武隈川）
-  国道・主要地方道
-  歴史・シンボル施設



(2) 老朽化の状況

施設の性質上、文化財又は文化財に準じる施設などは、既に築50年以上経過しています。また、収納庫等は比較的新しい施設が多いですが、資料館等老朽化が進んでいる施設もあります。

なお、本計画期間中に築50年に達する施設は3施設あります。



(注1) 市所有建物等のみ対象。棟単位で算出し、施設単位ではありません。

(注2) 複合施設は、主要施設の施設類型区分の面積に算入

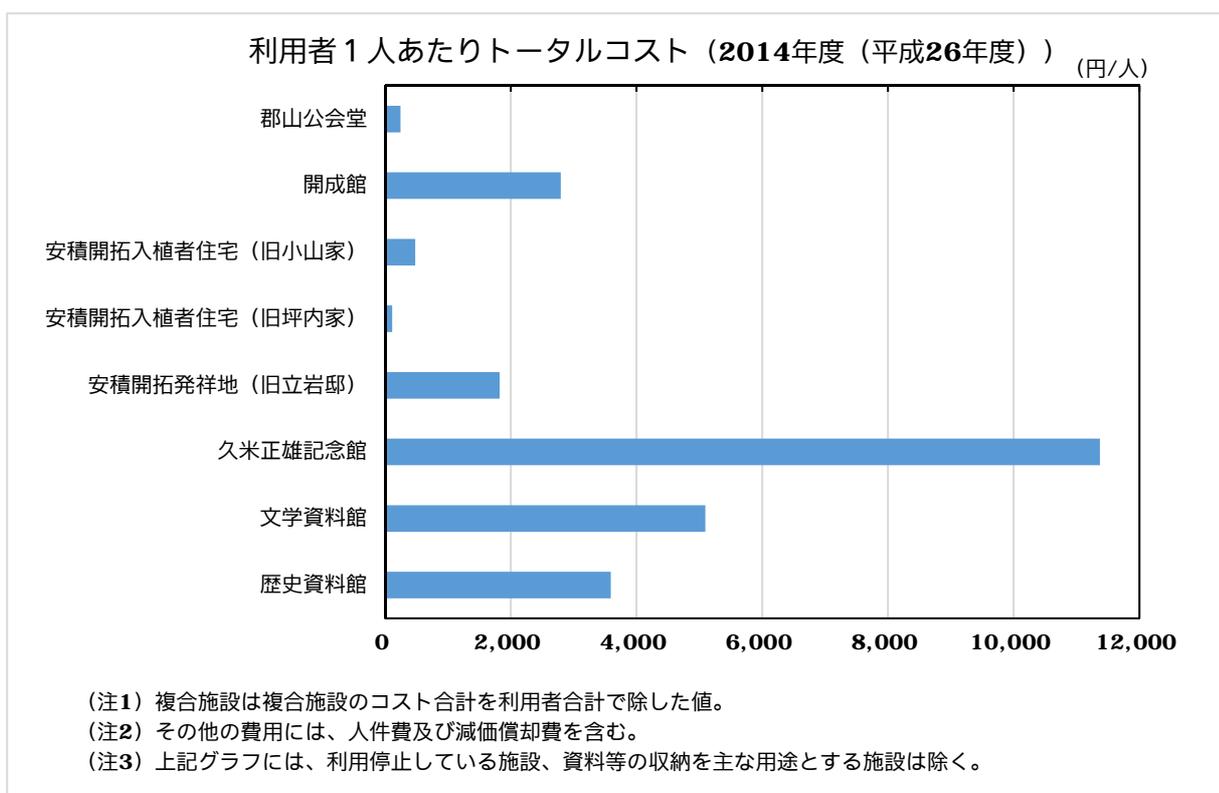
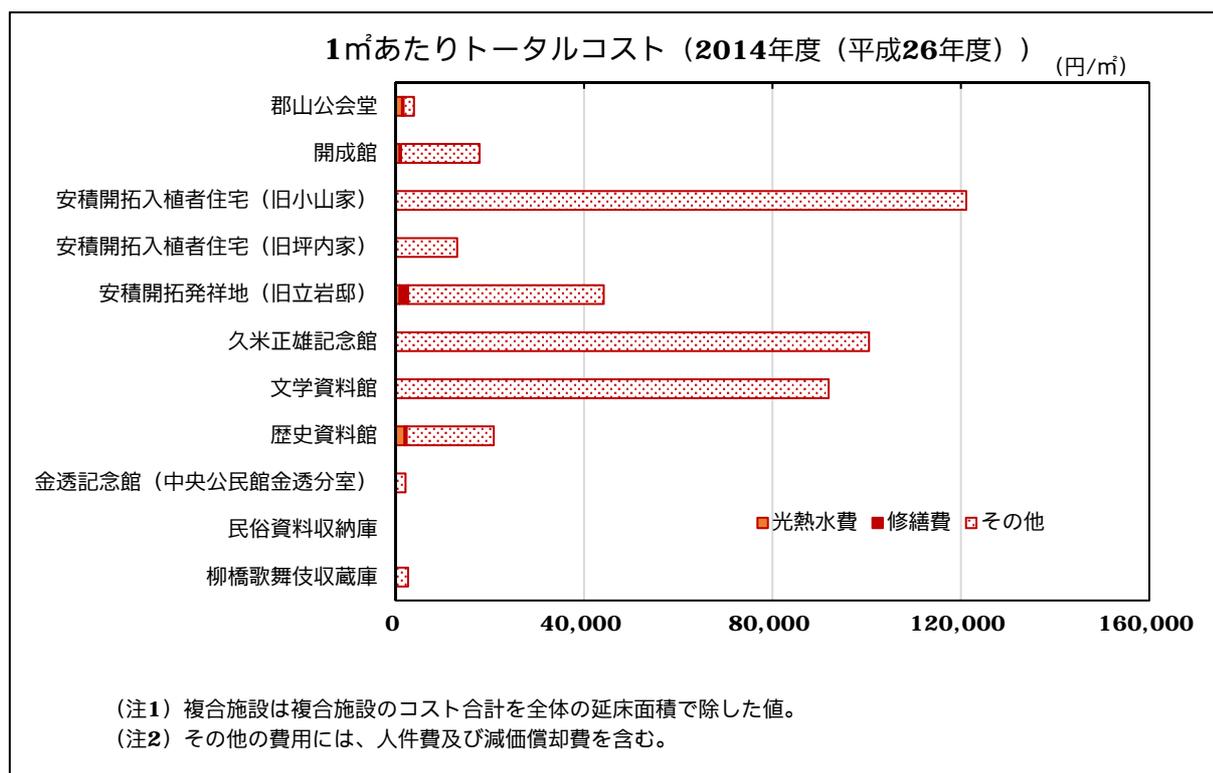
(注3) 2015年3月31日時点

(3) 利用状況・利用見込み

一般利用のある施設の利用者増減率は、施設によりばらつきがあります。
また、収納庫等の収納点数に増減はありません。

No	施設名称	利用 圏域	利用状況（施設利用者数、収蔵点数）			利用見込 増減率	備考
			2012	2014	増減率		
1	郡山公会堂	全域	47,926	17,465	-64%	-	施設利用者数（貸館・事業参加者の合計）の推移（人）
2	開成館	全域	8,743	8,654	-1%	-	利用者数の推移（人） ※2010-2014
3	安積開拓入植者住宅 （旧小山家）	全域	8,743	8,654	-1%	-	利用者数の推移（人） ※2010-2014
4	安積開拓入植者住宅 （旧坪内家）	全域	8,743	8,654	-1%	-	利用者数の推移（人） ※2010-2014
5	安積開拓発祥地（旧立 岩邸）	全域	8,743	8,654	-1%	-	利用者数の推移（人） ※2010-2014
6	久米正雄記念館	全域	3,634	2,102	-42%	-	利用者数の推移（人）
7	文学資料館	全域	7,473	10,375	39%	-	利用者数の推移（人）
8	歴史資料館	全域	4,580	5,111	12%	-	利用者数（見学・資料閲覧・ 講座受講等含む）の推移 （人）
9	金透記念館	全域	-	-	-	-	2013年度（平成25年度） 寄付 2016年度（平成28年度） まで改修により閉鎖
10	民俗資料収納庫	全域	2,620	2,620	0%	-	収納点数の推移（点）
11	柳橋歌舞伎収蔵庫	全域	1,000	1,000	0%	-	柳橋歌舞伎来客数（人）
12	旧福良小学校収納庫	全域	51,000	51,000	0%	-	収納点数の推移（点）
平均			13,927.7	11,299.0	-5.4%	-	

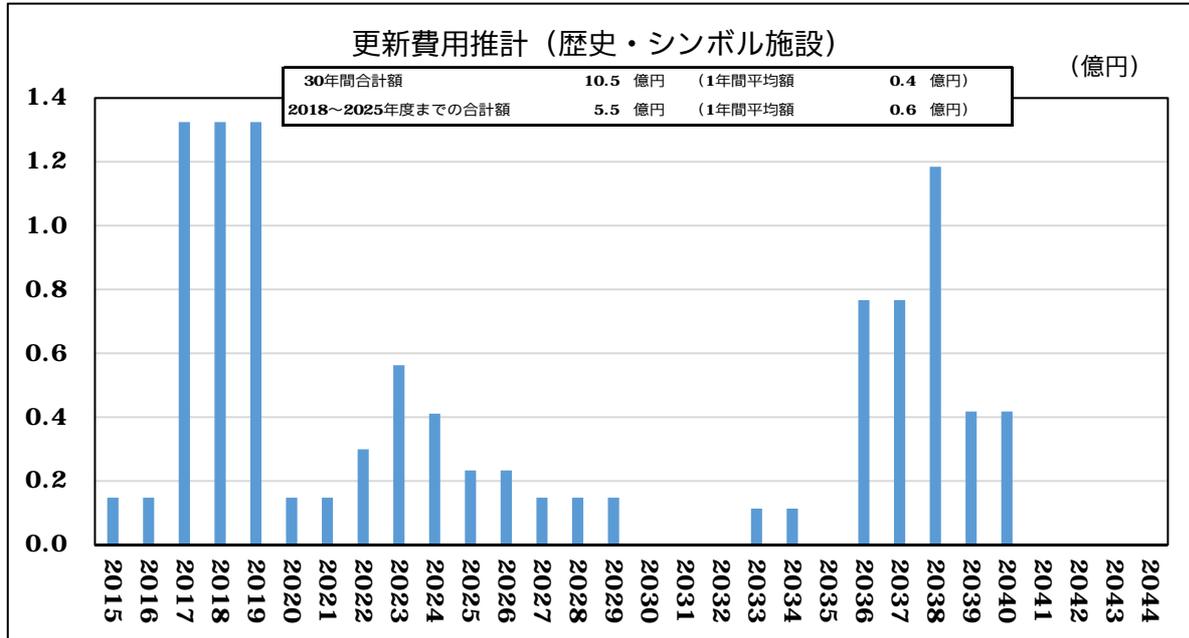
(4) トータルコスト



(注) トータルコストは、建物等の管理・運営に要する経費で、人件費、光熱水費、修繕費、減価償却費、その他の経費の合計額
 なお、人件費は、2014年度（平成26年度）決算における職種ごとの1人あたりの平均額を使用
 正職員 : 7,791千円/人 再任用（短時間）職員 : 3,200千円/人
 常勤嘱託職員 : 3,491千円/人 非常勤嘱託職員 : 2,686千円/人

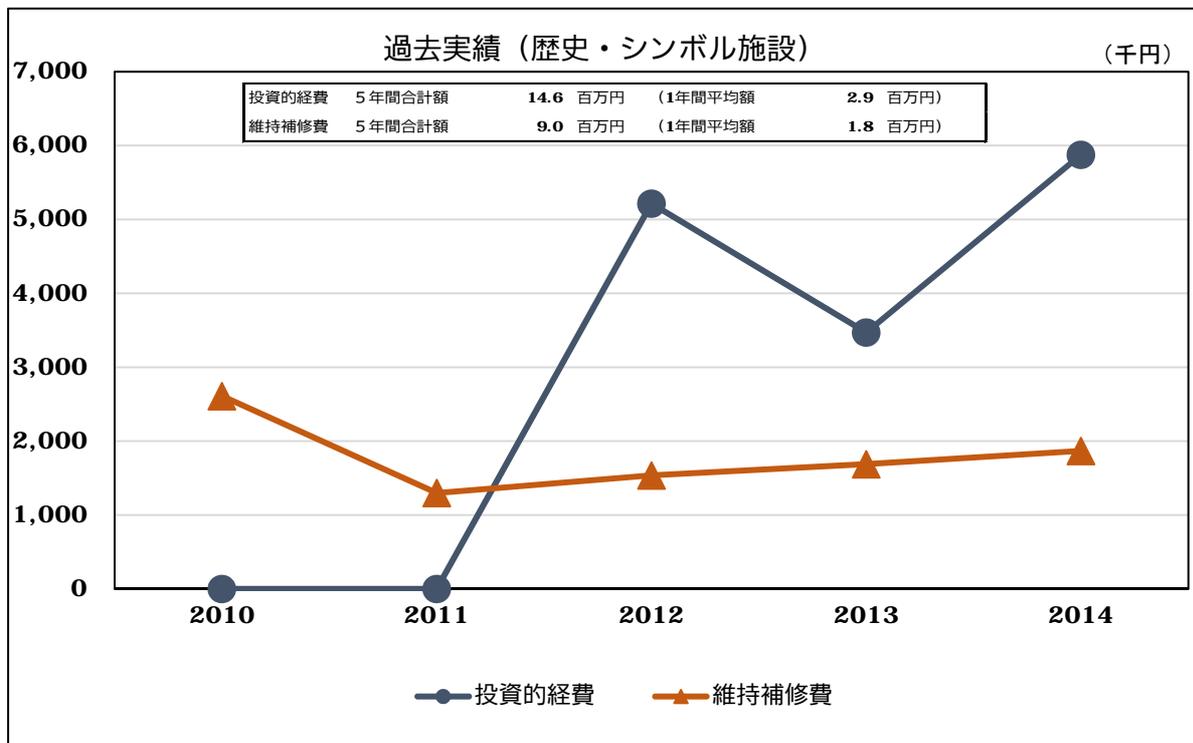
(5) 更新費用の推計

公共施設等総合管理計画策定時点の歴史・シンボル施設を現状のまま維持し続ける場合に必要な更新費用は、**30年間の合計で約10.5億円**となる見込みであり、**2025年度（平成37年度）**までに要する費用は約**5.5億円**にのびります。



(注) 総務省ウェブサイトで公表されている更新費用試算ソフトを使用

(6) 過去実績（投資的経費・維持補修費）の推移



(注1) 災害復旧費を含まない。

(注2) 投資的経費は、各施設に関連する予算科目の細々目事業の工事請負費（単独事業費・補助事業費）、維持補修費は工事請負費（維持補修）・修繕費を集計

第3章 施設類型別マネジメント方針

(1) 施設の役割

本市発展の礎である安積開拓及び安積疏水の開さく事業をはじめ、本市の歴史的・文化的資料の保存・公開等に利用される施設です。また、個人や団体等が文化活動の拠点や学校教育における活動の場として活用されているなど、本市の歴史・文化を国内外に発信する施設でもあります。

(2) 現状と課題

- ① 建設から相当年数経過して老朽化が進んでおり、耐震基準を満たしていない施設の安全確保が必要
- ② 耐用年数を経過し、さらに部品供給が停止となっている設備の改修が必要
- ③ 老朽化等により、資料の保存に適していない環境が発生
- ④ 一部施設における利用者の減少

(3) 今後の施設のあり方

既に老朽化が進行している施設もあることから、**2025年度（平成37年度）**までに築**50年**に達する施設（文化財等を除く）を優先的に、当該施設又は近隣施設の改修等の時期に合わせ、具体的な検討を開始します。

検討にあたっては、公共施設等総合管理計画に基づき、施設の長寿命化、維持管理コストの縮減、施設の最適化及び利用者の安全確保に取り組みます。

また、最適化については、地域の特性を考慮するとともに、使用しなくなった建物及び土地については、郡山市公有資産活用ガイドラインに基づき、有効活用を図ります。

① 施設の長寿命化

指定文化財以外の施設については、法定点検及び日常点検により得たデータ及び施設老朽化状況をもとに、老朽化が進んでいる施設から優先的に予防保全による計画的な改修を進めます。

また、指定文化財については、適切な管理により貴重な歴史的財産の保護に努めます。

目標使用年数	大規模改修周期
80年	30～40年

長寿命化前の更新費用見込 (全類型合計・普通会計分)	長寿命化後の更新費用見込 (全類型合計・普通会計分)
約5,193億円	約4,292億円 (△901億円)

※目標使用年数は公共施設等総合管理計画の長寿命化目標による。

※大規模改修には、故障等による修繕や設備の交換を含まない。

② 施設の維持管理コストの縮減及びPPP（官民連携）の推進

施設や設備の改修、更新に合わせて省エネを進めるとともに、郡山市PPP（官民連携）導入指針に基づき、指定管理者制度や包括外部委託をはじめとしたPPPの積極的な導入により、維持管理コストの縮減を図ります。

また、施設の大規模改修や更新の整備手法を検討する際には、PFI（※）ガイドラインに基づく導入可能性調査を踏まえ、PFI等の積極的な導入を検討します。

※ PFIとは公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用することで、効率化やサービスの向上を図る公共事業の手法をいう。

③ 施設の最適化

社会ニーズの変化の中で現状に適した施設のあり方や位置付けを検討しながら、サービスの充実を図ります。

また、指定文化財以外の施設については、施設の大規模改修・更新の際には集約化・多機能化の検討を行います。

施設の更新は、原則として既存施設の規模の範囲内とすることを前提とし、新たに施設を設置する場合は、既存施設との整理（複合化、多機能化など）を前提に検討します。

なお、施設の改修等の際には、多様な利用者を考慮し、ユニバーサルデザインに配慮します。

最適化による削減目標値 (全類型合計・普通会計分)
約170億円 (延床面積換算 △4.5%)

※削減目標値は公共施設等総合管理計画の総量縮減目標による。

※上記目標値には、資産活用・維持管理費の縮減による効果額を含む。

④ 利用者の安全確保

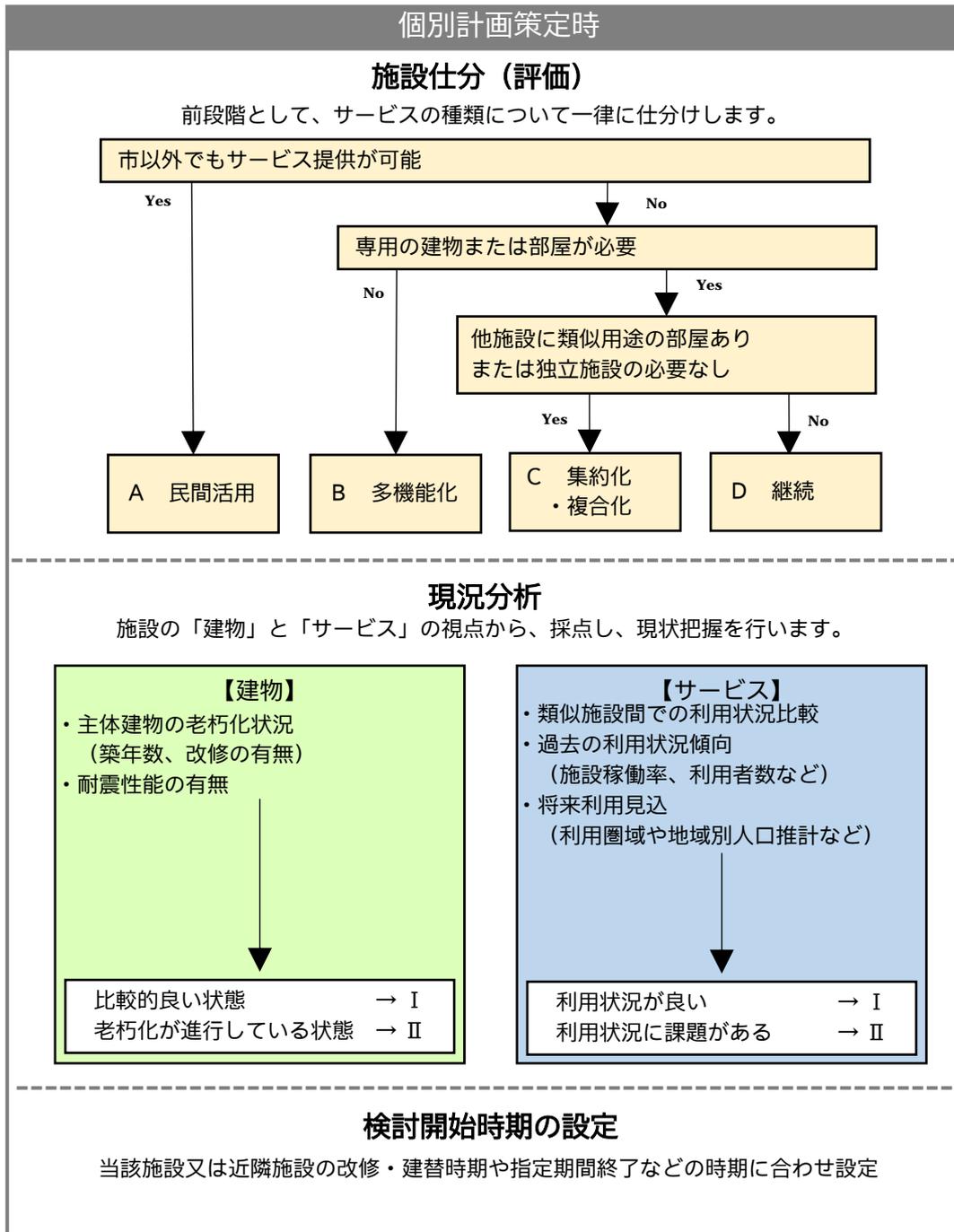
老朽化等により危険性が認められた施設は速やかに応急措置や早期の除却等を検討します。

また、文化財について、「重要文化財（建造物）耐震診断・耐震補強の手引（文化庁）」に基づき、施設の改修時に合わせ耐震化対策を検討します。

(4) 個別施設方針・検討開始年度

ここで示す方針は、施設の最適化の検討にあたり、施設の建物・サービスの現状分析を踏まえ、個々の施設の長期的な検討の方向性を示します。

具体的な実施方法については、検討開始年度が到来した際に、あらためて詳細な現況分析を行うとともに、住民や利用者との意見交換を踏まえ、検討していきます。



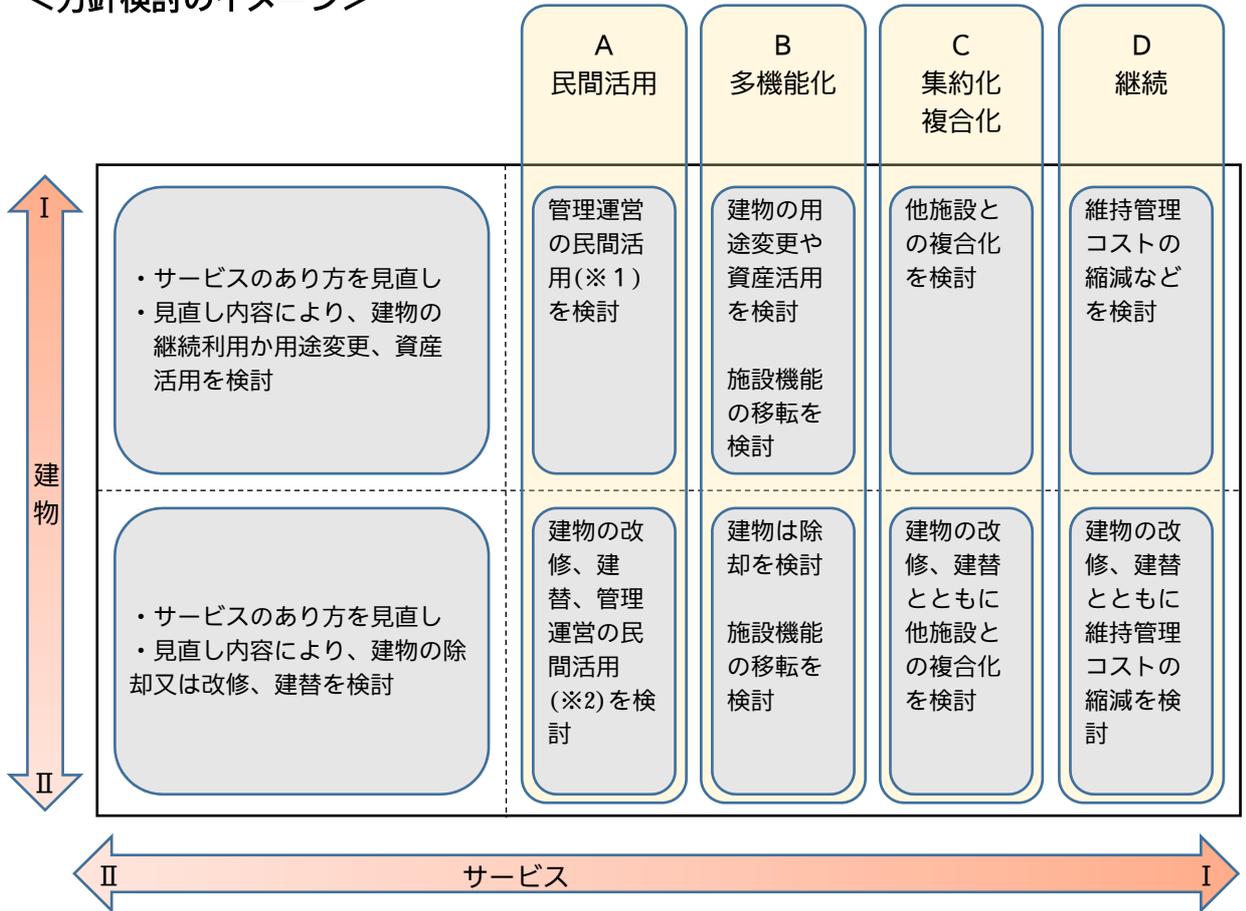
検討開始時期到来後

最新の現況分析や必要な点検診断を行い、住民や利用者とともに、具体的な方針を検討

<具体的な検討・整備の流れ>



<方針検討のイメージ>



※1 業務委託、包括委託、指定管理者制度、民営化など

※2 ※1のほか、デザインビルド（民間事業者に設計、建設を一括して発注する方式）、PFIを含む。

《個別施設方針》

No	施設名称	利用 圏域	施設 所管課	現状分析		評価	検討の方向性	検討開始 年度	備考
				建 物	サ ー ビ ス				
1	郡山公会堂	全域	総務法務課	Ⅱ	Ⅱ	D：継続	効率的・効果的な手法を検討しつつ、引き続き本市が継続して施設を設置する。	2016	
2	開成館	全域	文化振興課	Ⅱ	Ⅰ	D：継続	効率的・効果的な手法を検討しつつ、引き続き本市が継続して施設を設置する。	2018	
3	安積開拓入植者住宅（旧小山家）	全域	文化振興課	Ⅰ	Ⅰ	D：継続	効率的・効果的な手法を検討しつつ、引き続き本市が継続して施設を設置する。	2018	
4	安積開拓入植者住宅（旧坪内家）	全域	文化振興課	Ⅰ	Ⅰ	D：継続	効率的・効果的な手法を検討しつつ、引き続き本市が継続して施設を設置する。	2018	
5	安積開拓発祥地（旧立岩邸）	全域	文化振興課	Ⅰ	Ⅰ	D：継続	効率的・効果的な手法を検討しつつ、引き続き本市が継続して施設を設置する。	2018	
6	久米正雄記念館	全域	文化振興課	Ⅰ	Ⅱ	A：民間活用	既に指定管理者制度を導入しているが、指定期間の終了時期又は本施設若しくは近隣施設の改修・建替時期に合わせ、財源の多様化について再検討する。	2020	
7	文学資料館	全域	文化振興課	Ⅱ	Ⅰ	A：民間活用	既に指定管理者制度を導入しているが、指定期間の終了時期又は本施設若しくは近隣施設の改修・建替時期に合わせ、財源の多様化について再検討する。	2018	
8	歴史資料館	全域	文化振興課	Ⅱ	Ⅰ	D：継続	効率的・効果的な手法を検討しつつ、引き続き本市が継続して施設を設置する。	2018	
9	金透記念館	全域	文化振興課	Ⅰ	Ⅰ	D：継続	効率的・効果的な手法を検討しつつ、引き続き本市が継続して施設を設置する。	次期計画	
10	民俗資料収納庫	全域	文化振興課	Ⅰ	Ⅰ	C：集約化・複合化	本施設又は近隣施設の改修・建替時期に合わせ、他施設との複合化又は統合・移転を検討する。	2018	※歴史資料館検討時に合わせ検討
11	柳橋歌舞伎収蔵庫	全域	文化振興課	Ⅰ	Ⅰ	C：集約化・複合化	本施設又は近隣施設の改修・建替時期に合わせ、他施設との複合化又は統合・移転を検討する。	2020	
12	旧福良小学校収納庫	全域	文化振興課	Ⅱ	Ⅰ	C：集約化・複合化	本施設又は近隣施設の改修・建替時期に合わせ、他施設との複合化又は統合・移転を検討する。	2018	※歴史資料館検討時に合わせ検討